

我が家の小さな環境大臣を育てる エコ・マザー活動

エコ・マザー 活動ってなに？

九州各地の保育園など、お子さまや保護者の方々がお集まりになる場を訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行い、環境に配慮することの大切さを、小さなお子さまにも分かりやすく語りかける活動です。

この活動は、子どもたちへの環境教育支援と、ご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として2003年度から行っており、これまでの6年間で約8万5千人の方々に参加いただいています。



保育園・幼稚園・子ども会・育児サークルなどにて

〔年長さん向け〕環境紙芝居
「もりじいとなかまたち」



大地くんとみきちゃんの幼い二人の兄妹は、大きな木「もりじい」と話するのが大好きです。ある日、もりじいから聞かされたのは、自然の仲間に変化が起きていること。さて、その異変とは…?いろいろな自然との出会いの中から、自然や環境を守るために自分たちに出来ることは何か?を考え、気づいていく物語です。

〔年中さん以下向け〕ペープサート(紙人形劇)
「もったいないはちきゅうをまもるココロンパ!」



主人公「たくちゃん」一家はテレビをつけっぱなしにしたままおでかけをしてしまいました。だれもいなくなった部屋でテレビが熱で真っ赤になり、あわてる冷蔵庫や炊飯ジャー。電気を使うと出てくる「シーオーツー」まで登場し、おうちの中は大混乱!この出来事を通じて、「たくちゃん」一家が省エネに目覚める物語です。

エコ・マザー活動の内容

地球環境にやさしい行動についてのお話

子どもたちがその日から取り組みたくなるよう工夫してお伝えしています!



●エコ・マザーさんってどんなひと？

九州電力とお客さまとの環境コミュニケーションの「パイプ役」となっている、ご自身もお子さまをお持ちのお母さま方です。



ダイヤモンド保育園 エコ・マザー活動(長崎県長崎市)

保育園や幼稚園等 の先生方の 声

園児たちがあんなに真剣に話を聞くとは思っていなくて、びっくりしました。

子どもたちだけでなく、私たちにとっても勉強になりました。

子どもたちが、私たちよりも敏感に行動してくれています。



保護者の皆さまの 声

子どもが園から帰宅後、何度も何度も「もりじいとなかまたち」の絵本の読み聞かせをしてくれました。「シーオーツ、シーオーツ」と今日見て、聞いた事を一生懸命、身振り手振りで教えてくれました。

子どもから、「もったいない」という言葉を聞くようになりました。一時的ではなくずっと「もったいない」という気持ちを持ち続けられるように家でも気を付けていこうと思います。

子どもが帰って来てすぐ「水は出しっぱなしにしない。電気をつけっぱなしにしない。お約束をした。」と真剣に話していました。

●実施園には

～ペープサート(紙人形劇)の場合～
「お話朗読CD」と先生向けの「環境学習副読本」を差し上げています。

～環境紙芝居の場合～
「紙芝居」と地球環境について分かりやすく解説した冊子を差し上げています。

●お子さまのご家庭には

ご家庭で、お子さまと「環境」について会話が弾むよう、ペープサート・紙芝居と同じ内容の「ミニ絵本」「シール」を差し上げています。またこの絵本には、ご家庭で取り組むことのできる省エネ活動なども掲載しています。



ミニ絵本等とともに、当社環境活動の充実に向け、アンケートを配らせていただいています。

実施後…

「エコ・マザー活動」に関するお問合せ—
九州電力(株)環境部 環境計画グループ
TEL:092-761-3031(代表)

